

2018年度 BJT ビジネス日本語能力テスト結果公開 — 留学生の就職支援に係る「特定活動」の要件に BJT が認定 —

公益財団法人 日本漢字能力検定協会（本部：京都市東山区／代表理事：高坂節三／以下、漢検協会）は、日本語能力育成活動の一環として、企業の国際化支援と外国人ビジネスパーソン日本語学習支援を目的に、ビジネス場面での日本語コミュニケーション能力を総合的に測定する「BJT ビジネス日本語能力テスト（以下、BJT）」を主催しています。この度、2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の実施結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

■2018年度 BJT 実施結果

2018年度の受験者数は4,063人、平均点は460.5点でした。スコアに応じたレベル別では「J2 レベル（420～529点）」に多くの受験者が分布している結果となりました。その他、最高点、最低点、得点分布、部門別ランクのデータは、参考資料をご覧ください。

■BJT が「特定活動」の要件に認定

本年5月30日に法務省より「留学生の就職支援に係る「特定活動」（本邦大学卒業者）についてのガイドライン」が公表されました。

本制度は、留学生が我が国の大学等において修得した広い知識、応用的能力等のほか、留学生としての経験を通じて得た高い日本語能力を活用することを要件として、幅広い業務に従事する活動を認めるものです。現在、民間企業等においては、インバウンド需要の高まりや、日本語能力が不足する外国人従業員や技能実習生への橋渡し役としての期待もあり、高い語学力を有する留学生は、幅広い業務において採用ニーズが高まっています。今回の改正により、これまで就労目的の在留資格が認められていなかった飲食店・小売店等でのサービス業務や製造業務等においても、日本語を用いた円滑な意思疎通を要する業務に従事する場合、「特定活動」により認められ、留学生が就職できる業種の幅が広がります。

この度、「BJT ビジネス日本語能力テストで480点以上を有する」ことが高い日本語能力を有するとして認定の要件となりました。今回の改正を受け、留学生の就職における資格・能力証明の基準として受験者の更なる信頼獲得を目指してまいります。

■BJT とは

BJT は、ビジネス場面で必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定するテストです。言葉によるコミュニケーションだけでなく、文章や図表、写真など、与えられたすべての情報を用いて、日本語を理解、運用し、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を測定します。出題は合計で80問あり、「聴解」「聴読解」「読解」の3つのセクションで構成されています。

BJT のテスト結果は IRT（項目応答理論）に基づいた統計処理により 0～800 点で採点され、J5～J1+の 6 段階のレベルで評価されます。

<BJT のスコア／企業での活用例>



企業での活用例 Examples of use by businesses	
住宅メーカー BJT J1以上で奨励金	Residential construction company Incentive scheme for BJT J1 or above
電機メーカー BJT 500点以上で採用	Electronics manufacturer Employment for BJT score of 500+
ソフトウェア開発 BJT J2以上でシニアチームリーダーの資格	Software developer BJT J2 or above required for senior team leader qualification
人事サービス 人事評価の参考	HR service Used for performance reviews
電器メーカー JLPT N3の後の学習目標	Electronic appliances manufacturer Study goal after JLPT N3

テスト結果は、入国審査における「在留資格認定証明書交付申請」の際に審査の参考資料としても活用されています。

※BJT は、1996 年に独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）が実施を始め、2009 年に漢検協会が事業を継承しました。2019 年 8 月現在、国内 26 都市・海外 17 カ国・1 地域、CBT 方式で実施しています。

<組織概要>

組織名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会
代表者	代表理事 会長兼理事長 高坂 節三
設立	1992 年
本社所在地	京都市東山区祇園町南側 551 番地
事業内容	日本語・漢字に関する普及啓発・支援、調査及び研究、能力育成
URL	https://www.kanken.or.jp/

<BJT に関する一般の方のお問い合わせ先>
 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 お問い合わせ窓口
 電話：0120-509-315（フリーコール）
 ※月～金 9:00～17:00（祝日・お盆・年末年始を除く）

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>
 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 広報担当：白川・細谷
 電話：075-757-8624（直通）／E-mail：koho-c@kanken.or.jp

＜参考資料＞ 2018 年度 BJT ビジネス日本語能力テスト 結果の概要

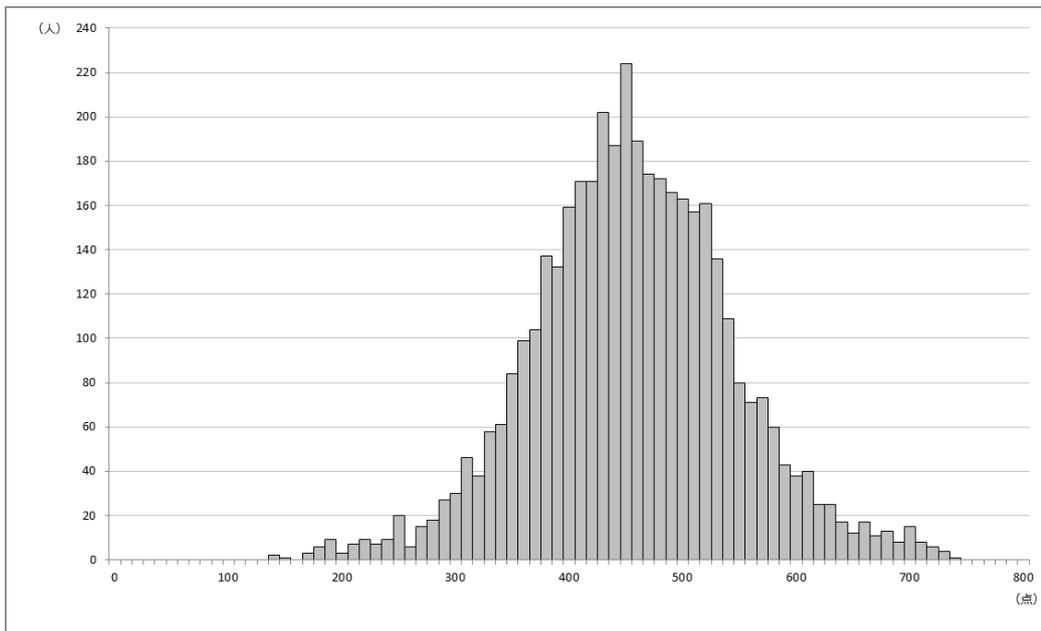
1. 受験者数

	受験者数	J1+	J1	J2	J3	J4	J5	判定できず
国内	2,709	181	397	1,390	634	84	4	19
海外	1,354	59	175	576	409	113	17	5
総計	4,063	240	572	1,966	1,043	197	21	24

2. 平均点、最高点、最低点、レベル分布（「判定できず」を除く）

	平均点	最高点	最低点	受験者数
国内	469.4	738	152	2,690
海外	442.6	740	144	1,349
総計	460.5	740	144	4,039

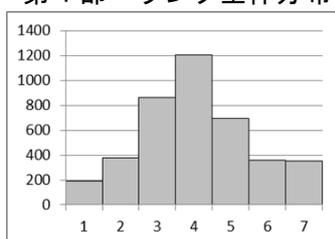
3. 2018 年度得点分布（「判定できず」を除く）



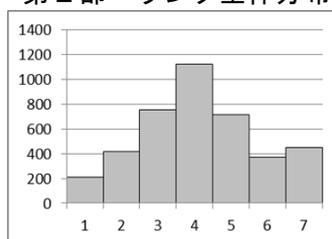
4. 部門別ランク（「判定できず」を除く）

部門	国内外	平均	最高	最低	受験者数
第1部 聴解	国内	4.2	7	1	2,690
	海外	3.7	7	1	1,349
	全体	4.1	7	1	4,039
第2部 聴読解	国内	4.3	7	1	2,690
	海外	3.8	7	1	1,349
	全体	4.1	7	1	4,039
第3部 読解	国内	4.2	7	1	2,690
	海外	3.9	7	1	1,349
	全体	4.1	7	1	4,039

第1部 ランク全体分布



第2部 ランク全体分布



第3部 ランク全体分布

